

議案第 17 号

令和元年度優良 P T A 会員小松市教育委員会表彰被表彰者について

次の者について議決を求める。

記

被表彰者氏名

表彰基準（1）号該当者	みちば 道場	みきお 幹雄
表彰基準（2）号該当者	おく 奥	たかし 貴至
表彰基準（2）号該当者	のむら 野村	よしふみ 佳史
表彰基準（2）号該当者	えぐち 江口	みつる 充
表彰基準（4）号該当者	ちゅうや 忠谷	ちづる 千鶴

根拠：優良 P T A 会員教育委員会表彰要項

令和元年度優良PTA会員小松市教育委員会表彰被表彰候補者

氏名	略歴・要項表彰基準	推薦事由
みちば 幹雄 道場	H24.4～H25.3 特別委員長 H25.4～H27.3 副会長 H27.4～H28.3 監事 H29.4～H31.3 会長 表彰要項（１）号該当	市P特別委員長を務め、早寝早起き運動の取り組みを誰もが参加したくなるような行事になるよう、率先して企画立案に工夫を凝らし大会を成功に導いた。また、市P連会長として関係諸団体の事業に積極的に参加するとともに、市P連全体を一つにまとめることに尽力された。
おく たかし 奥 貴至	H26.4～H27.3 理事 H27.4～H28.3 総務委員長 H28.4～H29.3 副会長 H29.4～H31.3 監事 表彰要項（２）号該当	市P連では、役員を５年間務められ、なかでも市P連の中核である総務委員長・担当副会長を歴任し、会長を初め役員からの信頼も厚く、どんな困難な場合でも常に冷静且つ的確な判断でスピーディーに対応し、研究大会や早寝早起き朝ごはん運動小松市民大会を成功へと導かれた。
のむら よしふみ 野村 佳史	H27.4～H28.3 理事 H28.4～H29.3 総務委員長 H29.4～H30.3 副会長 H30.4～H31.3 監事 表彰要項（２）号該当	市P連では、役員を４年間務められ、なかでも市P連の中核である総務委員長・担当副会長を歴任し常に会長をバックアップして各種行事を成功に導かれた。また、市P連役員として市内関係団体事業へも積極的に参加し、青少年の健全育成に貢献された。
えぐち みつる 江口 充	H28.4～H29.3 特別委員長 H29.4～H30.3 副会長 H30.4～H31.3 監事 表彰要項（２）号該当	市P連では役員を３年間務められ、中でも市P連の基幹事業「早寝早起き朝ごはん運動」小松市民大会では委員長・担当副会長を歴任され成功に大きく貢献された。また、市P連行事では、常に活動がやり易くなるような心配りをされ、無駄のない効率的な活動環境をつくる事に尽力された。
ちゅうや ちづる 忠谷 千鶴	H29.4～H30.3 母親委員長 H30.4～H31.3 副会長 表彰要項（４）号該当	母親委員長として、母親・女性視点から機能するPTA組織作りの為にさまざまな活動に積極的に参加され、みんなが参加しやすい環境作りに尽力された。 また、市P連副会長の際は役員のなかでも信頼され女性目線での的確な意見を提案し、常に活動がやり易くなるような心配りをされ、無駄のない効率的な活動環境をつくる事に尽力された。

優良PTA会員教育委員会表彰要項

1 趣旨

小松市内の小学校・中学校PTA会員のうち、PTA本来の目的・性格に沿って、PTAの健全な育成発展に功績のあった個人を表彰し、もって青少年の健全な育成に資することを目的とする。

2 表彰基準

次の要件のいずれかを満たす個人で、小松市立学校PTA連合会の推薦のあった者とする。

- (1) 小松市立学校PTA連合会会長経験者
- (2) 小松市立学校PTA連合会役員を3年以上務めた者
- (3) 小松市立学校PTA連合会母親委員長又は同副委員長を2年以上務めた者
- (4) 特に顕著な活躍があり、小松市立学校PTA連合会が認めた者

3 被表彰者の選定及び決定

- (1) 小松市立学校PTA連合会は、上記表彰基準に従い、優良と認められる個人を、別記様式により推薦する。
- (2) 小松市教育委員会は、推薦された被表彰者候補について、審査の上決定する。

4 表彰の方法

表彰状の授与

5 表彰の時期

当該年度の小松市立学校PTA連合会研究大会の席上行う。

制定 平成7年度表彰より施行

令和元年度 小松市教育委員会 研究指定校等

- 1 平成29年度～令和元年度 研究指定校
(県) 英語教育強化拠点地域事業 中海中・中海小・東陵小
- 2 平成30年度～令和元年度 研究指定校
(国) 魅力ある学校づくり調査研究事業 芦城中・芦城小・第一小
(県) いしかわ道德教育推進事業 丸内中
(市) 学力向上パートナーシップ推進事業(国語科授業力) 苗代小・松陽中
(市) 学力向上パートナーシップ推進事業(確かな学力) 国府中・安宅中
(市) 英語力向上推進事業 松東みどり学園・松東中
- 3 令和元年度～研究指定校
(市) 学力向上パートナーシップ推進事業(算数・数学) 串小・日末小・御幸中
(市) 英語科授業づくり推進事業 南部中
(市) 体力向上推進事業 符津小
- 4 研究会等
(中部地区) 小学校道德教育研究大会 今江小
(県) 国語教育研究大会 芦城中
(県) 生活科研究大会 串小
- 5 その他
(県) 多忙化改善実践推進事業 稚松小・国府中
(県) オリンピック・パラリンピック推進事業 安宅中
(県) 武道等資質向上・指導改善支援事業 国府中・板津中
(県) 体育実技補助指導者派遣事業 那谷小
(県) 地域交流による高等学校活性化事業 中海小・中海中
(県) 学校安全総合支援事業 国府小・国府中
(県) 統計グラフ協力校 月津小・板津中
(県) N I E 研究校 苗代小・松陽中
(県) 愛鳥モデル校 栗津小

令和元年度 小松市立小・中・高等学校運動会日程

<H31. 4. 8 時点の予定日です>

校 名	予 定 日	雨 天 予 備	校 名	予 定 日	雨 天 予 備
芦城小	9月21日(土)	22日(日)23日(月) 24日(火)	那谷小	9月14日(土)	15日(日)16日(月) 23日(月)
稚松小	9月14日(土)	18日(水)19日(木) 20日(金)	国府小	6月 1日(土)	2日(日) 3日(月) 4日(火)
安宅小	9月21日(土)	22日(日)23日(月)	中海小	9月21日(土)	22日(日)23日(月) 24日(火)
犬丸小	9月21日(土)	22日(日)23日(月) 24日(火)	東陵小	9月14日(土)	15日(日)16日(月) 17日(火)
荒屋小	5月25日(土)	26日(日)28日(火) 29日(水)	能美小	5月25日(土)	26日(日)27日(月) 28日(火)
第一小	9月21日(土)	22日(日)23日(月) 24日(火)	松東みどり学園	9月14日(土)	15日(日)16日(月) 17日(火)
苗代小	9月21日(土)	22日(日)23日(月) 24日(火)	芦城中	9月11日(水)	12日(木)
蓮代寺小	5月25日(土)	26日(日)28日(火) 29日(水)	丸内中	9月11日(水)	12日(木)13日(金) 17日(火)
向本折小	9月21日(土)	22日(日)23日(月) 24日(火)	松陽中	9月11日(水)	12日(木)13日(金) 17日(火)
今江小	9月14日(土)	15日(日)16日(月) 17日(火)	御幸中	9月11日(水)	12日(木)13日(金) 17日(火)
串小	5月25日(土)	26日(日)28日(火) 29日(水)	南部中	9月 6日(金)	
日末小	9月21日(土)	22日(日)23日(月) 24日(火)	国府中	9月12日(木)	13日(金)
符津小	5月25日(土)	26日(日)27日(月) 28日(火)	中海中	9月12日(木)	13日(金)
粟津小	9月14日(土)	16日(月)17日(火) 18日(水)	松東中	9月 7日(土)	8日(日) 9日(月) 10日(火)
木場小	9月14日(土)	15日(日)16日(月) 17日(火)	安宅中	9月14日(土)	17日(火)18日(水) 19日(木)
矢田野小	9月21日(土)	23日(月)24日(火) 25日(水)	板津中	9月11日(水)	12日(木)13日(金)
月津小	5月25日(土)	26日(日)28日(火) 29日(水)	市立高校	8月30日(金)	31日(土)

食育推進事業について

令和元年度 子どもたちが考える給食献立事業

1 目的

児童の主体性を生かした食育の推進

- 児童がバランスの良い給食を考えることで食を選択する力を身につける
- 地場産物を活用することにより、地元への理解を深める
- 栄養教諭・学校栄養職員が直接、指導・助言を行うことで、児童の食への関心を高める

2 実施校

芦城小学校、稚松小学校、安宅小学校、苗代小学校、能美小学校

3 実施内容・スケジュール

5～11月 対象小学校それぞれ、児童と栄養教諭・学校栄養職員のアイデアで献立を考案

1月 各学校で考えた献立をそれぞれ実施

3月 給食献立作品集を作成し、全小中学校の児童生徒に配布

2020 東京オリンピック・パラリンピック献立の実施

1 目的

ホストタウン国にちなんだ料理を給食献立に取り入れ、世界の食文化に触れるとともにその国の特徴などを学び、豊かな国際感覚の育成につなげる

2 実施校

市内全小中学校

3 実施内容・スケジュール

7月16日・17日 カナダ献立（プーティン、メープルジャム）

今年度は、10月、12月、1月にも各国の料理をアレンジした献立を実施予定

※小松市のホストタウン国

ニュージーランド、モザンビーク、イギリス、フランス、カナダ、ブラジル

彰化市への青少年訪問団の派遣について

1. 事業概要

平成29年10月に友好交流都市協定を締結した台湾・彰化市との青少年の交流事業で、両市間の友好の促進と青少年の健全育成を目的として、小松市青少年訪問団を派遣するもの。平成29・30年度に続いて、今回で3回目の派遣となる。

2. 期間

7月31日（水）～8月7日（水）

3. メンバー

小松市団員10名（中学生3名、高校生5名、引率2名）

4. 活動内容

月 日	現地時刻	内容
7月31日（水）	19：30 22：10	小松空港発 桃園空港着
8月1日 （木） ～ 8月5日 （月）	終日	彰化市へ移動 彰化市滞在プログラム ・彰化市表敬訪問 ・国立彰化高校（授業参加，文化交流） ・国立彰化女子高校訪問（授業参加，文化交流） ・ホームステイ ・施設見学 など
8月6日（火）	午前 午後	台北市へ移動 台北市内見学
8月7日（水）	午前 14：45 18：30	台北市内見学 桃園空港発 小松空港着

ヒルズ×極地研 プロフェッショナルトーク

極地の大自然 壮大な景観とそのしくみ

南極・北極の壮大な
自然の姿と
その成り立ちについて
解説いただきます。

あわせて
オーロラをテーマとした
プラネタリウム番組
「オーロラ 生命の輝き」
を上映します。

6月 23日(日)

【時 間】 11:00～12:30

【場 所】 3Dスタジオ

【参加費】 通常観覧料

【定 員】 120名

【申 込】 HPより申し込み（先着順）



国立極地研究所 副所長
榎本浩之氏



国立極地研究所
大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構



問い合わせ先：サイエンスヒルズこまつ ひととものづくり科学館
TEL:0761-22-8610 <http://science-hills-komatsu.jp>